

平成21年8月期 第2四半期決算短信

平成21年4月13日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 大庄

コード番号 9979 URL <http://www.daisyo.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 平 辰

問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役管理本部長 (氏名) 水野 正嗣

四半期報告書提出予定日 平成21年4月13日

配当支払開始予定日

TEL 03-5764-2229

平成21年5月21日

(百万円未満切捨て)

1. 平成21年8月期第2四半期の連結業績(平成20年9月1日～平成21年2月28日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
21年8月期第2四半期	44,000	—	897	—	1,197	—	464	—
20年8月期第2四半期	44,610	2.8	1,131	△33.3	1,120	△36.5	358	△51.5

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
21年8月期第2四半期	22.28	—
20年8月期第2四半期	17.08	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
21年8月期第2四半期	54,677	32,807	59.7	1,582.41
20年8月期	55,034	33,070	59.8	1,566.96

(参考) 自己資本 21年8月期第2四半期 32,639百万円 20年8月期 32,910百万円

2. 配当の状況

(基準日)	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	年間
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
20年8月期	—	10.00	—	11.00	21.00
21年8月期	—	10.00			
21年8月期(予想)			—	11.00	21.00

(注)配当予想の当四半期における修正の有無 無

3. 平成21年8月期の連結業績予想(平成20年9月1日～平成21年8月31日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	89,350	△0.3	2,500	△10.5	3,000	7.5	1,150	7.3	55.75

(注)連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 有

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有

[(注) 詳細は、4ページ【定性的情報・財務諸表等】 4. その他をご覧ください。]

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更)に記載されるもの)

① 会計基準等の改正に伴う変更 有

② ①以外の変更 無

[(注) 詳細は、4ページ【定性的情報・財務諸表等】 4. その他をご覧ください。]

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	21年8月期第2四半期	21,198,962株	20年8月期	21,198,962株
② 期末自己株式数	21年8月期第2四半期	572,648株	20年8月期	196,308株
③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間)	21年8月期第2四半期	20,833,175株	20年8月期第2四半期	21,002,830株

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1. 上記予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、予想につきましては様々な不確定要因が内在しておりますので、実際の業績は予想値と異なる場合があります。なお、上記業績予想に関する事項は、4ページ「3. 連結業績予想に関する定性的情報」をご参照下さい。

2. 当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

定性的情報・財務諸表等

1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間（平成20年9月1日から平成21年2月28日まで）の経済情勢につきましては、9月に起きた米国金融機関の経営破たんをきっかけとした世界的な金融不安が実体経済に波及し、国内においても企業収益が急速に悪化、雇用情勢に大きな影響を与えるなど、「100年に1度」といわれる深刻な景気後退局面を迎えるにいたりました。

外食業界におきましても、雇用や所得環境の悪化を背景に個人の消費マインドが冷え込んだため、事業環境としては厳しい状況が続きました。

このような状況の中で、当社グループは13店舗（当社10店舗、㈱イズ・プランニング3店舗）の新規出店を行いました。また、12月13日には㈱壽司岩が行う寿司業態「築地寿司岩」29店舗及び外販事業並びにおせち販売事業を譲受け、当社100%子会社として新たな形でスタートしました。さらに、店舗改装については5店舗（当社4店舗、㈱イズ・プランニング1店舗）で実施するとともに、経営効率化のため5店舗の閉鎖を行いました。

一方、営業戦略としては、11月にグランドメニュー改訂を行った他、「旬・季節」の食材を使用したイベントの強化、専任部隊を中心とした宴会・接待需要の掘り起こしなどに取り組みました。また、店舗運営体制については、営業時間の見直し、ワークスケジュール管理の再構築、主要な販管費のコスト効率化なども図りました。

売上状況につきましては、年末年始を中心とした宴会需要は順調に推移したものの、その他一般の飲食需要が低迷したことが大きく影響し、厳しい状況が続きました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は、前年同期に比べ1.4%減少の44,000百万円となりました。

事業のセグメント別では、飲食業につきましては、㈱壽司岩の売上が新たに加わったものの、当社グループの既存店売上高が対前年比4.3%の減少となったこと等により、売上高は前年同期比0.8%減少の39,241百万円となりました。なお、当第2四半期末のグループ直営店舗数は前期末に比べ37店舗増加の755店舗（当社665店舗、㈱イズ・プランニング62店舗、㈱壽司岩28店舗）となっております。

卸売業につきましては、鮮魚卸売子会社の売上不振等により、売上高は前年同期に比べ18.8%減少の2,269百万円となりました。

不動産事業につきましては、子会社の不動産事業において賃貸物件の空き室が増加したこと等により、売上高は前年同期に比べ17.0%減少の462百万円となりました。

フランチャイズ事業につきましては、フランチャイズ店舗の売上高減少等により、売上高は前年同期に比べ1.5%減少の196百万円となりました。

その他事業につきましては、物流子会社が行うグループ外の一般取引先への配送業務が増加したことや、新潟県佐渡海洋深層水㈱の外部販売先に対する売上増等により、売上高は前年同期に比べ21.7%増加の1,831百万円となりました。

一方、利益面につきましては、メニュー改訂効果や食材高騰の落ち着き等により売上原価率は低下したものの、全般的な売上高低下により、営業利益は897百万円と前年同期比20.7%減少となりました。経常利益は営業外収益でメーカーとの専売料収入が増加したこと等により1,197百万円と前年同期比6.9%増加、四半期純利益は464百万円（前年同期比29.4%増加）となりました。

なお、上記文中における前年同期比は参考として記載しております。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

(1) 資産、負債及び純資産の状況

(資産)

当第2四半期連結会計期間末における流動資産は11,554百万円となり、前連結会計年度末に比べて137百万円増加となりました。これは、現金及び預金が100百万円減少したこと及び棚卸資産が210百万円増加したこと等によるものであります。

また、固定資産は43,122百万円となり、前連結会計年度末に比べて494百万円減少となりました。これは、事業譲受によりのれんが234百万円増加したものの、減価償却が進んだことにより有形固定資産残高及び差入保証金が減少したこと等によるものであります。

(負債)

当第2四半期連結会計期間末における流動負債は11,522百万円となり、前連結会計年度末に比べて819百万円減少となりました。これは、買掛金が448百万円減少したこと及び未払法人税等が346百万円減少したこと等によるものであります。

また、固定負債は10,347百万円となり、前連結会計年度末に比べて725百万円増加となりました。これは、長期借入金が465百万円増加したこと及び社債が150百万円増加したこと等によるものであります。

(純資産)

当第2四半期連結会計期間末における純資産は32,807百万円となり、前連結会計年度末に比べて262百万円減少となりました。これは、四半期純利益の計上により利益剰余金が236百万円増加したこと及び自己株式を499百万円取得したこと等によるものであります。

(2) キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物は、前連結会計年度末に比べ100百万円減少の7,113百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況については、以下のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローは、1,713百万円の資金収入となりました。収入の主な内訳は、税金等調整前四半期純利益1,046百万円、減価償却費1,801百万円等であり、支出の主な内訳は、法人税等の支払額799百万円等であります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローは、1,470百万円の資金支出となりました。これは主に、有形固定資産の取得による支出1,043百万円及び敷金・保証金の差入による支出229百万円並びに事業譲受による支出222百万円等によるものです。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローは、343百万円の資金支出となりました。これは主に、借入金による純増加額240百万円及び社債の発行による収入150百万円等の収入に対し、自己株式の取得による支出499百万円及び配当金の支払額231百万円等の支出があったことによるものです。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

今後の見通しにつきましては、景況感が急速に悪化し、経済の先行き不透明感も一段と高まっていることから、厳しい状況を予想しております。

こうした状況の中で、当社グループは売上拡大策として、会社訪問等による営業活動強化の他、ランドメニューの刷新、「ランチ営業」や「食事メニュー」の強化、食材イベントの推進、業態戦略の立て直し、業績不振店対策の強化、産直取引ルートの開拓などに取組んでまいります。また、引き続き経費コントロール策を強化し、コスト効率化を図ってまいります。

一方、労務改善問題への対応につきましては、抜本的な見直し策を早急に策定し、実行してまいりたいと考えております。

これらの施策を着実に実行することにより、当期の連結業績予想につきましては、売上高を89,350百万円（対前回予想比較1.6%減少）、営業利益2,500百万円（対前回予想比較12.3%減少）、経常利益3,000百万円（対前回予想比較3.2%減少）、当期純利益1,150百万円（前回予想と変わらず）と、平成20年10月10日に公表しました業績予想から一部変更しております。

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

簡便な会計処理

①一般債権の貸倒見積高の算定方法

当第2四半期連結会計期間末の貸倒実績率等が前連結会計年度末に算定したものと著しい変化がないと認められるため、前連結会計年度末の貸倒実績率を使用して貸倒見積高を算定しております。

②固定資産の減価償却費の算定方法

定率法を採用している資産については、連結会計年度に係る減価償却費の額を期間按分して算定する方法によっております。

③繰延税金資産及び繰延税金負債の算定方法

繰延税金資産の回収可能性の判断に関しては、前連結会計年度末以降に経営環境等、かつ、一時差異等の発生状況に著しい変化がないと認められるので、前連結会計年度において使用した将来の業績予測やタックス・プランニングを利用する方法によっております。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

①当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第12号）及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第14号）を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

②棚卸資産の評価に関する会計基準の適用

「棚卸資産の評価に関する会計基準」（企業会計基準委員会 平成18年7月5日 企業会計基準第9号）を第1四半期連結会計期間から適用し、評価基準については、原価法から原価法（収益性の低下による簿価切下げの方法）に変更しております。

これによる、当第2四半期連結累計期間の営業利益、経常利益、税金等調整前四半期純利益及びセグメント情報に与える影響は軽微であります。

③リース取引に関する会計基準等の適用

「リース取引に関する会計基準」（企業会計基準委員会 平成5年6月17日 最終改正平成19年3月30日 企業会計基準第13号）及び「リース取引に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準委員会 平成6年1月18日 最終改正平成19年3月30日 企業会計基準適用指針第16号）を第1四半期連結会計期間から早期に適用し、所有権移転外ファイナンス・リース取引については、通常の賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理から通常の売買取引に係る方法に準じた会計処理に変更し、リース資産として計上しております。

また、リース資産の減価償却の方法は、リース期間を耐用年数とし、残存価額をゼロとして算定する方法によっております。

なお、リース取引開始日が適用初年度前の所有権移転外ファイナンス・リース取引については、通常の賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理を引き続き採用しております。

この結果、従来の方法によった場合に比べて、リース資産は有形固定資産の「その他」として71百万円増加し、リース債務は流動資産の「その他」及び固定負債の「その他」としてそれぞれ10百万円及び64百万円増加しております。

なお、これによる、当第2四半期連結累計期間の営業利益、経常利益、税金等調整前四半期純利益及びセグメント情報に与える影響は軽微であります。

(追加情報)

有形固定資産の耐用年数の変更

法人税法の改正（所得税法等の一部を改正する法律 平成20年4月30日 法律第23号）を契機に耐用年数の見直しを行い、第1四半期連結会計期間より機械装置について改正後の税法耐用年数を適用しております。

これによる、当第2四半期連結累計期間の営業利益、経常利益、税金等調整前四半期純利益及びセグメント情報に与える影響は軽微であります。

5. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成21年2月28日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成20年8月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	7,161	7,261
売掛金	2,080	2,018
商品	702	563
製品	52	10
原材料	203	174
仕掛品	0	0
貯蔵品	30	30
繰延税金資産	259	324
その他	1,225	1,174
貸倒引当金	△161	△141
流動資産合計	11,554	11,417
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	15,782	16,457
機械装置及び運搬具(純額)	583	596
工具、器具及び備品(純額)	2,008	2,104
土地	7,896	7,896
建設仮勘定	—	10
その他(純額)	71	—
有形固定資産合計	26,342	27,064
無形固定資産		
借地権	913	913
のれん	223	—
その他	155	155
無形固定資産合計	1,292	1,068
投資その他の資産		
投資有価証券	121	137
長期貸付金	91	101
差入保証金	9,292	9,365
敷金	5,048	4,961
繰延税金資産	574	566
その他	527	491
貸倒引当金	△168	△140
投資その他の資産合計	15,487	15,483
固定資産合計	43,122	43,617
資産合計	54,677	55,034

(単位：百万円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成21年2月28日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成20年8月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	2,339	2,787
短期借入金	1,883	2,325
1年内返済予定の長期借入金	2,567	2,350
未払金	2,662	2,628
未払法人税等	609	956
未払消費税等	280	367
賞与引当金	180	218
株主優待引当金	74	78
その他	924	629
流動負債合計	11,522	12,342
固定負債		
社債	3,650	3,500
長期借入金	4,608	4,142
退職給付引当金	854	814
役員退職慰労引当金	469	450
受入保証金	693	706
その他	71	7
固定負債合計	10,347	9,621
負債合計	21,869	21,963
純資産の部		
株主資本		
資本金	8,626	8,626
資本剰余金	9,908	9,908
利益剰余金	15,244	15,007
自己株式	△734	△235
株主資本合計	33,044	33,306
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	31	40
土地再評価差額金	△436	△436
評価・換算差額等合計	△405	△396
少数株主持分	168	159
純資産合計	32,807	33,070
負債純資産合計	54,677	55,034

(2) 四半期連結損益計算書
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	当第2四半期連結累計期間 (自平成20年9月1日 至平成21年2月28日)
売上高	44,000
売上原価	15,635
売上総利益	28,365
販売費及び一般管理費	27,467
営業利益	897
営業外収益	
受取利息	5
受取配当金	2
専売料収入	368
その他	64
営業外収益合計	441
営業外費用	
支払利息	88
貸倒引当金繰入額	24
その他	28
営業外費用合計	141
経常利益	1,197
特別利益	
貸倒引当金戻入額	8
店舗立退補償金収入	13
特別利益合計	21
特別損失	
固定資産除却損	88
店舗関係整理損	41
減損損失	41
特別損失合計	172
税金等調整前四半期純利益	1,046
法人税、住民税及び事業税	509
法人税等調整額	63
法人税等合計	572
少数株主利益	9
四半期純利益	464

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

当第2四半期連結累計期間
(自 平成20年9月1日
至 平成21年2月28日)

営業活動によるキャッシュ・フロー	
税金等調整前四半期純利益	1,046
減価償却費	1,801
減損損失	41
受取利息及び受取配当金	△8
支払利息	88
固定資産除却損	88
店舗立退補償金収入	△13
売上債権の増減額 (△は増加)	△61
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△200
仕入債務の増減額 (△は減少)	△448
未払消費税等の増減額 (△は減少)	△86
その他	332
小計	2,581
利息及び配当金の受取額	8
利息の支払額	△90
法人税等の支払額	△799
店舗立退補償金受取額	13
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,713
投資活動によるキャッシュ・フロー	
有形固定資産の取得による支出	△1,043
敷金及び保証金の差入による支出	△229
敷金及び保証金の回収による収入	116
貸付けによる支出	△59
事業譲受による支出	△222
その他	△31
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,470
財務活動によるキャッシュ・フロー	
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△442
長期借入れによる収入	1,750
長期借入金の返済による支出	△1,066
社債の発行による収入	150
自己株式の取得による支出	△499
配当金の支払額	△231
少数株主への配当金の支払額	△0
その他	△3
財務活動によるキャッシュ・フロー	△343
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△100
現金及び現金同等物の期首残高	7,213
現金及び現金同等物の四半期末残高	7,113

当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報

[事業の種類別セグメント情報]

当第2四半期連結累計期間(自平成20年9月1日至平成21年2月28日)

	飲食事業 (百万円)	卸売事業 (百万円)	不動産 事業 (百万円)	フランチャ イズ事業 (百万円)	その他 事業 (百万円)	計 (百万円)	消去 又は全社 (百万円)	連結 (百万円)
I 売上高及び営業損益								
売上高								
(1) 外部顧客に 対する売上高	39,241	2,269	462	196	1,831	44,000	—	44,000
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	20	6,231	380	—	667	7,299	(7,299)	—
計	39,261	8,500	843	196	2,499	51,300	(7,299)	44,000
営業利益	1,217	74	221	162	67	1,743	(845)	897

(注) 1 事業区分は、売上集計区分によっております。

2 各事業の主要な内容

当第2四半期連結累計期間 (自平成20年9月1日至平成21年2月28日)	
事業区分	主要な内容
飲食事業	当社及び榊イズ・プランニングが営む料理飲食業 榊アルスが営む病院・事業用給食施設の運営 榊壽司岩が営む料理飲食業及び外販等の事業
卸売事業	当社及び米川水産榊が営む生鮮食料品等の卸売業
不動産事業	当社及び榊アサヒビジネスプロデュースの不動産賃貸・管理等の事業
フランチャイズ 事業	当社のフランチャイズ加盟店からのロイヤリティ収入等の事業
その他事業	榊ディ・エス物流の運送事業 新潟県佐渡海洋深層水榊が営むミネラルウォーター等の飲料水の製造・販売

3 事業区分の変更

従来、「その他事業」に含めておりました当社のフランチャイズに関する事業は、当該事業の営業利益の割合が高まったことにより、第1四半期連結会計期間より「フランチャイズ事業」として独立したセグメントに区分することといたしました。

この結果、従来の方法と比較して、「その他事業」の売上高及び営業利益は、それぞれ196百万円及び162百万円減少しております。

[所在地別セグメント情報]

当第2四半期連結累計期間については、本邦以外の国または地域に所在する連結子会社及び重要な在外支店はないため、記載を省略しております。

[海外売上高]

当第2四半期連結累計期間については、当社及び連結子会社において海外売上高がないため、記載を省略しております。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当第2四半期連結会計期間末における自己株式の残高は、前連結会計年度末より499百万円増加し、734百万円となっております。これは主に、平成20年10月10日開催の取締役会の決議に基づき、平成20年10月14日から平成21年1月31日にかけて、信託方式による市場買付により当社普通株式376,300株を、総額498百万円にて取得したためであります。

「参考資料」

前年同四半期に係る財務諸表

(1) 中間連結損益計算書

科 目	前中間連結会計期間 (自 平成19年9月1日 至 平成20年2月29日)		
	金額(百万円)		百分比 (%)
I 売上高		44,610	100.0
II 売上原価		16,321	36.6
売上総利益		28,288	63.4
III 販売費及び一般管理費		27,156	60.9
営業利益		1,131	2.5
IV 営業外収益			
1 受取利息	6		
2 受取配当金	2		
3 専売料収入	80		
4 その他	32	122	0.3
V 営業外費用			
1 支払利息	91		
2 貸倒引当金繰入額	0		
3 社債発行費	17		
4 その他	23	133	0.3
経常利益		1,120	2.5
VI 特別利益			
1 固定資産売却益	0		
2 貸倒引当金戻入益	7		
3 補償金収入	148		
4 その他	7	163	0.3
VII 特別損失			
1 固定資産除却損	239		
2 減損損失	67		
3 店舗関係整理損	23		
4 役員退職金	86	417	0.9
税引等調整前中間純利益		866	1.9
法人税、住民税及び事業税	398		
法人税等調整額	103	502	1.1
少数株主利益		4	0.0
中間純利益		358	0.8

(2) 中間連結キャッシュ・フロー計算書

科 目	前中間連結会計期間 (自 平成19年9月1日 至 平成20年2月29日)
	金額(百万円)
I 営業活動によるキャッシュ・フロー	
1 税金等調整前中間純利益	866
2 減価償却費	1,838
3 減損損失	67
4 貸倒引当金の増減額	△1
5 退職給付引当金の増減額	24
6 役員退職慰労引当金の増減額	△84
7 受取利息及び受取配当金	△9
8 支払利息	91
9 固定資産除却損	239
10 補償金収入	△148
11 売上債権の増減額	72
12 たな卸資産の増減額	19
13 仕入債務の増減額	△320
14 未払消費税等の増減額	△124
15 その他	△110
小計	2,420
16 利息及び配当金の受取額	9
17 利息の支払額	△91
18 法人税等の支払額	△915
19 補償金受取額	148
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,570
II 投資活動によるキャッシュ・フロー	
1 定期預金の預入れによる支出	△6
2 定期預金の払戻しによる収入	10
3 有形固定資産の取得による支出	△1,480
4 有形固定資産の売却による収入	34
5 貸付けによる支出	△10
6 貸付金の回収による収入	12
7 敷金・保証金の差入れによる支出	△148
8 敷金・保証金の返還による収入	188
9 その他	△61
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,461
III 財務活動によるキャッシュ・フロー	
1 短期借入金の純増減額	△645
2 長期借入れによる収入	420
3 長期借入金の返済による支出	△1,167
4 社債の発行による収入	1,500
5 社債の償還による支出	△410
6 自己株式の取得による支出	△0
7 配当金の支払額	△232
8 少数株主への配当金の支払額	△0
財務活動によるキャッシュ・フロー	△535
IV 現金及び現金同等物の増減額	△426
V 現金及び現金同等物の期首残高	6,487
VI 現金及び現金同等物の中間期末残高	6,060

6. その他の情報

（訴訟）

当社は、平成20年12月22日付けで京都地方裁判所において、訴訟の提起を受けております。訴訟の内容等は次のとおりであります。

(1) 訴訟の提起があった裁判所及び年月日

京都地方裁判所
平成20年12月22日
（訴状送達日）
平成21年1月8日

(2) 訴訟の内容

当社元従業員が平成19年8月に自宅において心臓性突然死により死亡したことにに関して、遺族より労働上の安全配慮義務を怠ったとして1億22万2千円の損害賠償請求の提起を受けたものであります。